

明るく楽しい家庭は平均11%高く、非行グループでも富山県調査より高い。しかし親に対する孝の態度は28.1%と九大調査の半分という低率である。またねばり強い、礼儀作法に気をつける、素直であるその外10徳目に対する評価は平均4項目に達せず、徳性の涵養に欠けている。私は前に1万人の学童を調査し、家庭に宗教的雰囲気の重要なことを強調したが、今回の調査でも宗教的雰囲気の家庭に育つ子供が、そうでない子供に比べて、望ましい徳性を身につけている事実が明らかになった。

D-2 家庭の雰囲気と子供の人間形成に関する調査

山口大 森田 倭文

1. 人づくりの要望と反比例するように、非行児童が年々激増悪質化し、その対策が重要問題となっている。素直な良い子供を育成するには、その生活基盤である家庭が、明るく楽しいものでなければならない。私は、子供の人間形成に家庭の雰囲気がどのように影響するかを調査考察した。

2. 山口県立育成学校、児童相談所、山口少年鑑別所等の非行中学生約100名、山口大学附属中学校、宇部、小野田、下関等都市部中学校、農村、山村、小島等の中学校計11校の中学生約1,700名に対し質問紙法により、自分の家庭、親に対する考え、その他の徳性について自己評価を求めた。

3. 富山県青少年問題協議会調査結果(35%)に比べ、